

第2章 学校における情報通信ネットワークの教育利用

1 調査の概要

(1) 調査の趣旨

平成8年7月に発表された第15期中央教育審議会第一次答申では、これからの高度情報通信社会に生きていく子どもたちに、どのような教育が必要かという観点及びコンピュータや情報通信ネットワーク（以下「ネットワーク」という。）をどのように教育に生かすかという観点から、各学校段階を通じた系統的・体系的な情報教育の実施により情報活用能力の育成を図ること、情報機器や情報通信ネットワーク環境を整え高機能化・高度化した「新しい学校」を創造すること、情報化の進展がもたらす「光と影」に適切に対応することなどが提言されています。

また、平成9年10月の「情報化の進展に対応した初等中等教育における情報教育の推進等に関する調査研究協力者会議」の「体系的な情報教育の実施に向けて」において、情報教育の目標として「情報活用の実践力」「情報の科学的な理解」「情報社会に参画する態度」があげられています。更に、平成10年12月には、幼稚園教育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領が告示され、平成11年3月には、高等学校学習指導要領、盲・聾・養護学校の教育要領・学習指導要領が告示され、コンピュータやネットワークの教育利用が明示されました。

このような状況の下、府内の学校においてネットワークを教育利用する際の課題や京都みらいネットの円滑な活用の方法を探るため、各学校における情報通信ネットワークの整備に関する実態や教職員の意識などの調査を行い、実態や課題をまとめることとしました。

(2) 調査の内容・方法

ア 調査の内容

この調査においては「情報通信ネットワークの教育利用に関する学校調査」（以下「学校調査」という。）と「情報通信ネットワークの教育利用に関する教職員調査」（以下「教職員調査」という。）を実施しました。

学校調査では「回答者の属性」「パソコンの整備状況」「ネットワークの整備状況」「サーバの整備状況」「インターネットの接続状況」「ネットワーク運営組織の設置状況」「情報教育等にかかわる校内研修の実施状況」「ネットワークの教育利用上の課題」「京都みらいネットに希望するサービス」について設問を設けました。

教職員調査では「回答者の属性」「パソコンの活用や研修についてのイメージ」「インターネットの活用や研修についてのイメージ」「パソコンの利用状況」「インターネットの利用状況」「インターネットのサービス別利用状況」「インターネットのサービス別教育効果」「インターネットの教育分野別教育効果」「インターネット等を教育利用するとき大切に思うもの」「インターネット等を教育利用するとき情報モラル等の教育で大切に思うもの」「京都みらいネットに希望するサービス」「インターネット等を活用した教育を進める上で必要な研修」「インターネット等を活用した教育を進める上での課題」について設問を設けました。

イ 調査の方法

- (ア) 調査期間 「学校調査」 平成 10 年 9 月末現在
「教職員調査」平成 10 年 8 月～ 11 月
- (イ) 調査対象 「学校調査」 各学校におけるネットワークもしくは情報教育担当者等
「教職員調査」各学校におけるネットワークもしくは情報教育担当者等と当総合教育センター研修講座受講者の一部
- (ウ) 調査形式 質問紙法によるアンケート調査形式
- (エ) 回収状況 「学校調査」 京都府内（京都市立を除く）公立小学校 265 校、中学校 99 校、京都府立高等学校 50 校（分校 2 校を含む）
及 び盲・聾・養護学校 11 校（分校 1 校を含む）の計
425

校から回答を得ました。

「教職員調査」各学校の担当者 425 名と講座受講者 344 名を合わせた 769 名から回答を得ました。

学校調査の記入者の職名は「教諭」が 83.8 %で最も多く、次いで「教頭」となっています。次の表 2 - 1 と表 2 - 2 は、教職員調査における回答者の「職名別」及び「教職経験年数別」の回答状況を示したものです。

表 2 - 1 校種・職名等における回答者内訳

| 校種 | 職名等 | | | | | | 合計 |
|----------|-----|----|-----|-----|------|-----|-----|
| | 校長 | 教頭 | 部主事 | 教諭 | 養護教諭 | その他 | |
| 小 学 校 | 1 | 31 | 0 | 310 | 9 | 11 | 362 |
| 中 学 校 | 0 | 2 | 0 | 188 | 10 | 6 | 206 |
| 高 等 学 校 | 0 | 2 | 1 | 160 | 1 | 13 | 177 |
| 盲・聾・養護学校 | 0 | 2 | 0 | 20 | 0 | 2 | 24 |
| 合 計 | 1 | 37 | 1 | 678 | 20 | 32 | 769 |

表 2 - 2 校種・教職経験年数における回答者内訳

| 校種 | 教職経験年数 | | | | | 合計 |
|----------|--------|---------|---------|------|-----|-----|
| | 1年～10年 | 11年～20年 | 21年～30年 | 31年～ | その他 | |
| 小 学 校 | 110 | 163 | 85 | 0 | 4 | 362 |
| 中 学 校 | 95 | 87 | 21 | 2 | 1 | 206 |
| 高 等 学 校 | 94 | 56 | 18 | 3 | 6 | 177 |
| 盲・聾・養護学校 | 9 | 11 | 3 | 1 | 0 | 24 |
| 合 計 | 308 | 317 | 127 | 6 | 11 | 769 |

ウ 分析の方法

分析の方法は、各選択肢の単純集計とその百分率、選択順位による重み付け集計、クロス集計、カイ二乗検定で行いました。